



何回止めても
落ちる
(困り感)

止まったけど、
また落ちそう
(困り感)



脚立とトイを組み合わせ、水を流すコースをつくって
いました。トイを洗濯バサミで止めていますが、トイが思うよう
に止まらなかったり、洗濯バサミが取れたりしていました。

伏見スライダーでは苗帽子からトイに水を流そうと、トイを洗濯
バサミで止めていましたが、何度止めてもトイが滑り落ちてしまい、
たくさんの洗濯バサミを止めることでずれないようにしていました。

話し合いをすると…

脚立の方で遊んでいたAくんは「洗濯バサミたくさん使ってるけど、すぐはずれちゃう」とみんなに伝えました。スライダー
で遊んでいたBくんも「こっちも、何かで括った方がいいのかな」Cくん「洗濯バサミもっと増やしたら？」と、思いを話しまし
た。Aくん「ダブルクリップって書いてあるカゴが空っぽだったけど、先生用意できる？」と、保育者に尋ねました。①「できる
よ」と伝えると、Bくん「ダブルクリップってどんなの？」Dくん「ダブルやから強そう、使ってみよう」と話し、洗濯バサミから
ダブルクリップに変えることにしました。



ダブルクリップ強い！
(試す、特性を知る)

これなら止まる！
(できた、喜び)



水をいっぱい流しても
はずれないよ
(できた)



翌日、両方の遊びともダブルクリップを使って止め、コースをつくり始めました。Aくん「少し開くときに硬いけど、これならいけ
る」と、Dくんと嬉しそうにコースをつくっていました。①「こっちどう？」と伏見スライダーで遊んでいる子ども達に尋ねると、Bく
ん「これめっちゃいいわ」Cくん「めっちゃ強い」と、ダブルクリップの強さや良さに感心している様子でした。その日の話し合い
で、みんなにダブルクリップの良さを伝えていました。

後日、室内で遊ぶときにAくんとEちゃんが転がし遊びで芯同士を止めようとダブルクリップを使いましたが、芯が太くダブル
クリップの開く大きさに限界があるためAくん「使えるものと使えないものがあるってことだね」と、Eちゃんと話していました。

子どもの育ちや学び

- ・今までは全て洗濯バサミで解決しようとしていたが、思うように止まらないことから困り感をどのようにして解決すれば良いか
話し合うことで、ダブルクリップを試してみることにした。
- ・ダブルクリップの使い方や特性などを知り、ダブルクリップの良さに気付く。
- ・話し合いで共有することでダブルクリップを他の遊びでも試そうとしたが、ダブルクリップの開く幅の限界を知り、使えるものと
使えないものがあることに気付く。

保育者の思い

- ・様々な用具を準備していますが、空のカゴを取り外すことを忘れていました。
ダブルクリップを使ってみたいという子どもの考えを聞き、使いきれかな？
と思いましたが、洗濯バサミに行き詰っている子ども達を救ってくれるかもしれ
ないとすぐにダブルクリップを準備しました。
- ・困り感を友達と伝え合うことで、自分とは違う友達の考えを知ってほしいと思
い、話し合いで伝え合うことにしました。
- ・ダブルクリップの良さを共有しましたが、メリットデメリットがあることを子ども
達にも気付いてほしいと思い、他の遊びでも使ってみようとしている姿を見守
りました。

家庭だったら…

子ども達の中で「これは使える」と、信頼
感をおいているものはありませんか？しか
し、使い方によっては思うようにいか
ないものがあります。行き詰ると、どう
しても先にアイデアを言ってしまうそ
うになりますが、子ども自身が自分達
で気付いていく姿やものの使い方や特
性を知り試してみようとする姿を大切
にし、見守っていきたいですね。